

雪 音

寒天終夜更
無他事唯思
前大徳天祐
史書

秋期特別展

名 墨 展

期間 昭和57年10月12日(火)
~10月24日(日)

場所 平塚市博物館・特別展示室
(入場無料)

展示品 京都大徳寺高僧の墨跡を中心にした展示

※(大徳寺)京都市北区紫野にある臨済宗大徳寺派の大本山。正中元年(1324)大灯国師(宗峰妙超)の創建、花園上皇・後醍醐天皇の帰依を受け、京都五山の一、さらに五山の上利となる。のち、五山派に対し在野的立場をとり、禅界に独自の位置を占めた。応仁の乱後一休宗純が入寺、堺の豪商の援助を得て再興。千利休、小堀遠州らが山内に庵を結び、茶の湯など風流の面に特色のある寺として有名。

雪 聲
寒天終夜更
無他事唯思
前大徳天祐
史書印

訳しんしんと雪の降る音
静寂の状況
「さむそらのよもすがら
余念なく唯思う」